

令和4年度

第2回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

令和4年度第2回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年5月25日(水)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時10分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	高 田 稔
教育長職務代理者	庄 野 憲 二
委 員	森 勝 正
委 員	重 清 由 充
委 員	大戸井 美 生
委 員	西 淵 利 江

4 会議出席者

教 育 部 長	森 友 邦 明
教 育 次 長	佐 藤 正 彦
教育次長兼教育総務課長	酒 卷 達 也
学 校 教 育 課 長	前 田 耕 志
社 会 教 育 課 長	板 東 毅
学校給食センター所長	矢 部 泰 世
(書記) 教育総務課課長補佐	佐 坂 景 子

5 議題

- (1) 教育委員会事務事業の点検及び評価について
- (2) 令和4年度阿波市一般会計補正予算(第3号)教育委員会所管部分について
- (3) 準要保護の認定について

会議の大要は、次のとおり。

【高田教育長】ただ今から令和4年度第2回阿波市教育委員会定例会を開会いたします。

前回会議録の承認について

【高田教育長】前回会議録の承認について何かご意見ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】それでは、前回の会議録について承認いたします。

教育長の報告について

【高田教育長】4月26日から5月25日までの、主だった教育委員会行事について報告。  
何か質問はございませんか。

〈質 疑〉

【森委員】4月26日の「阿波市緑と森づくり委員会」ですが、これは以前に阿波市内の学校、市場町だったかと思うんですが、何校かの学校が植林体験に行ったりしていた会のことですか。あの会は今はどうなっているのでしょうか。

【高田教育長】森づくり委員会の事業では、いろいろな木材を利用して、学校にベンチや本立てとかを寄贈していただいています。その会の総会になります。

【森委員】緑の募金をもとにバスをチャーターして大影小の方へ植林に行ったりしていた、あの会とは違うのですか。当たった学校は、子どもたちを連れて行って、木の枝を使って工作をしたり、植樹もしたりとかなり時間がかかったような記憶があったんですが、最近はどうなっているのかなと思ったものですから。

【佐藤教育次長】大俣小学校では5、6年くらい前まで大影小学校の奥の方に行って植林体験、クラフトワークをしていました。この2年間はコロナで中止となっています。

【森委員】ありがとうございました。

【高田教育長】報告を終わり、議事に進みたいと思います。ただいまから議案審議に入ります。

議案第1号 「教育委員会事務事業の点検及び評価について」

【高田教育長】議案第1号 「教育委員会事務事業の点検及び評価について」事務局より説明をお願いします。

【酒巻教育総務課長】教育委員会事務事業の点検及び評価について説明

【高田教育長】ただいまの議案第1号についてご質問等ございませんか。

〈質 疑〉

なし

【高田教育長】 それでは議案第1号について、承認いたします。次に、議案第2号につきましては、令和4年第2回阿波市議会定例会に提案予定の案件となります。また、議案第3号につきましては、個人情報が含まれる内容となりますので、会議規則第17条の規定により秘密会とし、非公開としてよろしいか。

【各委員】 異議なし

【高田教育長】 異議なしと認め、議案第2号から議案第3号については秘密会とし、非公開といたします。

〈秘密会〉

【高田教育長】 秘密会を解きます。以上で、本定例会に付議された議案は全て終了しました。

その他

【高田教育長】 委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【板東社会教育課長】 令和4年度吉野ウォーターパークの営業について説明させていただきます。吉野ウォーターパークは体力づくり、健康づくりを推進し、心身の健全な育成に寄与するための体育施設として建築され、市内外の方を対象にご利用いただいている施設です。しかしながら新型コロナウイルス感染症の感染対策が困難なことから令和2年度、令和3年度は営業を中止といたしました。現在は全国で感染者は減少傾向ではあるものの、まだ状況が見通せない状態が続いており、阿波市においても予断を許せない状態が続いております。現在、コロナ対策は段階的に緩和傾向にありますが、阿波市の小中学校においては、依然、感染者数が減少していない状態が続いています。また、屋外ではありますが、プール内という狭い範囲での活動となりますので感染リスクが高くなると考えられます。吉野ウォーターパークは阿波市において人気のある施設であるがゆえに人の出入りが多く、休日、お盆等においては県外からの帰省客が増大することも予想されます。阿波市民と子どもたちの安全を第一と考え、今年度も営業中止の方向で考えております。

【高田教育長】 ただ今の件につきましてご意見、ご質問等ございますか。

【森友教育部長】 追加の報告をさせていただきます。資料をご覧ください。今、板東課長より吉野ウォーターパークの営業中止の方向と説明させていただきましたが、本日5月25日の新型コロナウイルスの状況でございます。同一小学校同一学年で、現在7人の方が陽性となっております。この7人が陽性でクラスターということになりまして、学年閉鎖になっております。それと2年生が2人、4年生と6年生が1人ずつで計11人の陽性者が発生しています。また、A中学校でも2年生が2人、B中学校が1人の陽性者が出ています。阿波市全体で1

4人の児童生徒の陽性者が自宅療養中でございます。4月28日のゴールデンウィーク前は6人ございました。現在は14人と倍以上の陽性者が出ています。増えたり減ったりの波はあると思うのですが、お盆時期は県外からの帰省者も来るということで、一つの案として吉野ウォーターパークは今年度も中止という流れとなりました。

【高田教育長】この件についていかがでしょうか。

【大戸井委員】決定には異論はありませんが、質問としては、学校の水泳の授業は現在はどうなっているのでしょうか。

【佐藤教育次長】今のところ実施する予定です。6月の最初くらいにプール掃除をする予定になっています。今日くらいに、報道でもありましたが、文部科学省から「集団登校の時はマスクをはずしてもいい」との通知が送られてくるので、それに則ってしていくようになりますが、昨年度よりはコロナ対策は緩和されています。昨年度はどの学校も水泳をしていますので今年度もする方向だと思います。

【大戸井委員】ありがとうございました。今年は3年ぶりに日本全国一切規制のないゴールデンウィークだったのですが、そういった中、国としてはもう制限ないですよと、サッカーでも声出してもいいですよとなってきたり、マスクの着用もしなくていいですよというようなことが増えてきている場面で、屋外施設であるウォーターパークを何らかの条件を付けながら開催するという方向性は検討できなかったのかなというのがあります。例えば、人数制限であるとか、お盆の期間は営業しないであるとか。そういったことも検討として入れていただいているのかなと、そういう過程があったのかということをご質問させていただきたい。

【板東社会教育課長】お盆等の営業については、委託する業者の方からお盆の営業はできないということでした。もし、お盆期間も開けるとなれば職員が交代でいなければならないということで、もし営業するとしたらお盆期間は休止という方向では考えてはいました。営業期間が7月20日から8月25日という予定なので、例年でしたらお盆期間も開けているのですが、お盆期間を閉めた場合はほとんど営業日数もないような感じになりますし、人数制限した場合も財政的にも負担があるという考えでやはり難しいのではないかなということになりました。

【大戸井委員】わかりました。ありがとうございました。

【森委員】国の規制がかからない中で、他の自治体や民間の施設で次々とプールがオープンしていくならば、住民からの批判が出てくるのではないかと思います。

【板東社会教育課長】徳島市の方にも確認しましたが、今日の段階で決定ができていないようでした。小松島市の方はオープンするようです。県内で市が管理しているプールは3つしかありません。

【森委員】非常に判断が難しいところがあるとは思いますが、批判もあるのではないかなと思いますので、いろんなところの現状も確認しながらゆっくり決めてもよいのではないかなと思います。

【大戸井委員】経済効果を考えるのであれば人数制限をしない方がよいとは思いますが、コンサートや野球、サッカーも人数制限をしながら営業しているということを考えたときに、そういうことも検討したらよかったのかなと思います。

【森友教育部長】小学校でクラスターが発生していますが、クラスターが出た場合は確実に即中止になりますので、その辺りの判断が。営業しますとなつてすぐ中止となるのではいけませんので、今のところは慎重にいった方がよいという考えで事務局としては判断したところです。

【森委員】屋外で大きな声を出さなければマスクははずしても大丈夫というところがありますが、プールに行ったらみんな大きな声が出ると思うんですね。

【西渕委員】阿波市内の方だけにというわけにはいかないのですか。

【板東社会教育課長】どちらかといえば市外、県外の方に利用が多いんです。

【西渕委員】そうなんですか。では、それを止めてしまうとなるとさらに財政的に苦しくなりますね。

【大戸井委員】一方ですつとしないというのもどうなのでしょう。

【森委員】陰性を証明できたらいけますとかはちょっと厳しいですね。

【西渕委員】機械は、使っていないと調子が悪くなったりはしないんですか。

【森委員】機械は使用前に点検があるのではないのでしょうか。

【森友教育部長】そうですね。試運転もします。

【佐藤教育次長】小学校では体育の授業で特に気にしていたのは更衣室が密になることですね。それを指導したうえで、分散して着替えるように、できるだけ少ない人数で更衣室を使うようにと。そこでうつってしまう可能性があるのです。もしかしたら、ウォーターパークはいろんな方が来られるので、その辺りが心配があるかと。

【庄野委員】ちなみに去年は市の水泳記録会はなかったんですか。

【佐藤教育次長】なかったです。

【森友教育部長】去年も社会教育課長がだいぶ検討してくれていましたが、当時はソーシャルディスタンスが言われていて、それで考えると吉野ウォーターパークでは男女それぞれ5人ずつくらいしか入れない。なおかつ、換気扇の設置がないので感染リスクが高いだろうと。そうなった場合は、仮設の更衣室を作らなければならないなという話も出ていました。

【森委員】理由の主なものとしては、不特定多数の方が集まってくるということと学校でクラスターが発生している状況にあるということになりますか。

【森友教育部長】はい。

【高田教育長】よろしいでしょうか。どうするかという決定は難しいと思います。市民の方や市民の代表の方がどういう反応をされるかというのは、やはり心配なところではあります。先ほどもお話がありましたように、他の自治体の動向はかなり気になりますし、政府、国、県がどういう方向性を出すかというのも一週間ごとに変わるようなところがありまして、か

なり気にしております。ただ、学校教育の立場からお話しさせていただきますとおそらくすべての小学校のプールは開けると思います。ですから、本市の子どもたちは学校のプールで指導のもと、ある程度は利用できるかなど。家族で参加するようなどころについてはご遠慮いただいて、それぞれの学校でのプールを活用していただけたらいいかなと思います。この件につきましてはもう少し、感染症の状況や対応方針を見ながら決定していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【酒巻教育総務課長】 施設整備計画に基づく事業の報告について説明。

【高田教育長】 この件について何かございませんか。よろしいですか。では、他にございませんか。

【佐藤教育次長】 第1回の定例会の時にご質問がありました英語の検定のことについて、資料をお配りします。世界スタンダード英語4技能育成事業とそれにおける英語能力向上事業の2つの事業がありまして、徳島県の事業ということで、目的は、資料にもありますように「徳島ならでは」の生徒の英語力向上に資する取り組みということのようです。4技能の方は中学校の2年生で実施ということで、本年度は市場中学校の2年生が、昨年度は吉野中学校の2年生が受けたようです。各校ずっと回って回っているようです。4技能の事業については、事前研修会を行い、事業実践を行って、4技能型のテストを受けるということです。マークシートと記述式、タブレットで聞くとのこと。4技能5領域があるようで、聞く、読む、話す、話すがやり取りと発表がありまして、それと書く、という4技能をテストすることになります。そのあと事後研修会を行って、最後フィードバックという形となります。資料下の方の英語能力向上事業については、英検のようなものでこれは市場中学校であれば、4技能型を2年生が受けているので英検の部分は1年生と3年生が受けるようになるということです。他の学校は1年生から3年生まですべての学年で英検の部分を受けているようです。これは2技能、読むと書くで試験内容は筆記とリスニング、アンケートをマークシート形式で実施されているようです。以上です。

【高田教育長】 この件について、何かございますか。

【庄野委員】 去年、吉野中学校が受けたということは、その結果についての評価等はできているのですか。

【佐藤教育次長】 調べましたら、県全体のものはあったのですが、その学校だけに2年生については事後研修会がありますので、そこで評価があるかと思います。全県的な結果については公表されているようです。2年生が受けているので、その学校でフィードバックしてこれからの授業に反映していくようになるかと。

【庄野委員】 具体的に受けたら、どれだけ力がついているかがよくわかると思うので。

【重清委員】 今年度が市場中学校ということで回っていくということは、吉野中学校は今年はないということですか。

【佐藤教育次長】 そうですね。上の4技能の部分は市場中学校だけで、2技能の方は全校にな

ります。

【重清委員】受けたい子が機会を失う可能性もあるんですか。昨年が吉野中学校で今年は市場中学校で、次は土成中か阿波中に変わっていくと思うんですが、これは本人の希望ですか。それとも指定された2年生全員が受けるということですか。

【佐藤教育次長】学校が指定されて、その学校の2年生が全員取り組むようになります。県下ですと回っているようです。

【西淵委員】4校あったら、4技能を一回も受けないで卒業する子どももいるということですね。

【高田教育長】そうですね。

【庄野委員】4技能でしたら、非常に役に立ちますよね。

【重清委員】今日の新聞で文科省の方から「体育のマスク不用を周知」ということで、学校の体育授業で屋内外等でマスク着用は必要ないことを全国の教育委員会に周知するとあるのですが、先ほど部長から説明のありました小学校で出たように、原因を究明したら体育の授業が終わった後に仲の良い友達とつい話をしてしまった、そういう場合がありますよね。なので、体育が終わった後、会話を控えるというような徹底をしないと、子どもたちも今までマスクの着用が義務のように日常化していたものが、はずしてもいいよと言われても、やっぱり不安だからと着けておく子どももいると思います。その場合には特に夏場や体育の授業で熱中症の恐れもありますので十分気を付けてみていかなければならないと思います。また、はずした場合は、開放的になって会話が弾んでしまっただけではいけないので、そういうところは徹底していただきたいと思います。

【高田教育長】ほかにございませんでしょうか。

【大戸井委員】地元の回覧板で、一条小学校で防災訓練をしますとの案内が来たのですが、7、8年前に吉野中学校で防災訓練があったときは、対象が阿波市全体であったということで吉野中学校の生徒も参加していたのですが、今回の防災訓練は一条小学校の児童は参加されるのでしょうか。

【高田教育長】はい、全員参加します。

【大戸井委員】参加されるんですね。ありがとうございます。

【高田教育長】ほかにございませんか。

【森委員】前にも同じようなことを質問させていただいたかもしれないのですが、学校給食についてです。先日、ニュースの中で学校給食の配送の業者が、入札で決まって契約して、いざ給食が始まったときに配送用の車が手配できなかったために配送できなくなってしまって、突然そうなる学校も児童生徒も家庭も困ってしまって、混乱したという話がありました。給食は安全な食材を安心して、学校に行っている間はお昼の時間には必ず食事がとれる、また、朝ご飯を食べれていないお子さんにも食事をとれる機会が必ずあるということで、とにかく安心しておいしい食事が食べれるという「良さ」があります。阿波市の場合は非常に



人数が多い配食なんですけれども、おいしいという評判もありますので、それはすごくいいなと感謝しているところなんです、阿波市の場合は配送車に関しては市の車ということで購入しているので、私がニュースで聞いたようなことは発生しないだろうと思うのですが、それ以外のことで給食を予定通りに作って各学校に配送できない状況になりうる可能性っていうのはあるのでしょうか。あるのであれば、早めに検討して対策をしておいてほしいです。

【矢部所長】今、森委員さんがおっしゃられたように給食の配送車は阿波市で管理しております、小学校10校、中学校4校で計14校なんです、2t車のトラックで6台で配送しております。ルートを決めて一番短い時間で配送できるようにしております、当然、車なので、点検をしたり、冬にはスタッドレスタイヤに交換したりして、故障で配送できなくなるというのは今ところは考えにくいかなと思います。西は林小学校、東は一条小学校になりますが、6台ありますので少し遅れても対応はできるのではないかと考えております。

【森委員】それ以外で万が一という心配があるのが、調理に携わっている方がコロナが何人か発生して休みを取られるとなった場合、何人の方が休みになったら調理ができなくてパンとミルクだけになりますよ、ということはあるのでしょうか。

【矢部所長】株式会社東洋食品さんに委託していますが、調理されている方自体は阿波市内の方、市外の方もいらっしゃいますが、東洋食品さんの場合、石井町ですとか鳴門市、今年でしたら北島町と、徳島県内でもヘルプができる体制がありますので、仮に阿波市が配送できない状態になってもヘルプで対応できる状態にはなっています。その点が大きい調理業者のメリットかなと思います。健康管理も厳しくしておりますので、コロナにかかわらず、家族に体調不良があった場合も休みを取らせるとか、調理をするときも手袋をしたり、調理場を移動するときも部屋ごとに消毒を徹底しています。

【森委員】例えば、大規模停電ですとか大手の業者ということなんです、そこが倒産して職員を雇用できないような状況になった場合、困りますよね。それがないように、指定管理を決めるときには経営状況等を調べているとは思いますが、図書館もそうですよね。

【矢部所長】給食センターの場合はプロポーザル、ヒヤリングを受けますので、その辺りの実績ですとか、納税状況をチェックしながらしておりますので会社的には問題ないかなと思います。停電についても非常用発電がありますので、近くで電柱等に事故があったりした場合は非常用発電で賄うようになっています。

【森委員】市の非常用発電は何日ぐらいあるんですか。

【矢部所長】給食センターでは重油か軽油だったかと思うんですが、燃料形式なので燃料があれば、補給すればずっといけます。

【森委員】そうなんです。では、ニュースであったような心配は100%近くないということですね。

【矢部所長】私もそのニュースを見まして、なかなか珍しいことだなと感じました。

【森委員】配送車の台数が市から聞いた台数と自分で計算したのとずれておったということで、おかしいところはありますよね。そういうことはないとのことで安心しております。ありがとうございました。

【高田教育長】ほかにございせんか。では、私の方から委員さんにご意見をいただきたいということで、一点お願いいたします。阿波市内の学校の統廃合のこととございせん。今、お配りしている資料は、これから数年間の子どもの人口の推移を表にしたものになります。このことにつきましては、昨年の12月議会で原田定信議員さんからご質問をいただき、教育委員会では次のように答弁したところでございせん。学校の統廃合については、具体的には今のところ検討はしておりませんが、子育て効果が表れる10年後、20年後の児童生徒数の動向を注視しながら検討していきたいと回答いたしました。その理由として3つあります。今お手元にある出生データによりますと5年後の各学校の児童生徒数では、複式学級になる学校はありません。それと、近年は学校の適正規模を重視した統廃合は行っていない。学校の適正規模というのがだいたい12学級から18学級と国が定めているのですが、かなり以前の半世紀も前のデータでございせん。それをもとに統廃合を行っている学校はほとんどありません。その判断を市町村にゆだねているということです。3つめは、小規模校はデメリットでなくメリットもあるという理由、その3つでお答えさせていただきました。この件につきましてはかなり前から議員さんからご質問がありまして、第1次教育振興計画の策定時における保護者アンケートにもこの件に関してご意見をいただけるようにしました。また、以前の定例会の中でもご意見をいただいたこともありました。今回、昨年の議会でもご質問がありましたので、各委員の皆さんからもご意見いただければと思いたしましたので、提案させていただきます。よろしくお願ひいたします。

【庄野委員】前に教育長さんから資料をいただいて、令和3年から令和9年までの各小学校の児童数の移り変わりの表だったのですが、なぜか一条小学校だけ人数が増えているんですよね。一条小学校を除いては、どの小学校も減少していきだろうということがわかりました。特に一桁の人数の学年が出てくる学校では、その上下の学年の人数を足しても18人、19人の学年が出てくるので、もし支援学級に入る子どもが何人かいれば、複式にならないぎりぎりの人数になると思うんです。令和3年の出生数が148人だったと思いますが、それを合わせて考えると、ひょっとしたら10年以内に複式学級が出てくる可能性もあるかもしれません。教育長さんの議会での答弁にもあったように、小規模校にはメリット・デメリットがあつて、それも含めていろんなことを考えるとすぐに学校の統廃合に結び付けるのは早すぎるような気がしています。ただ、20年後、30年後の長いスパンで考えると、前に教育長さんがおっしゃっていたような隣接校区選択制のようなものを取り入れたり、もしかしたら休校になるところもあるかもしれませんし、三好市みたいに小中一貫校を各旧町でそろえていくような考えも出てくるかもしれませんが、それは20年後か30年後くらい後のことではないかなと私自身は思いました。

【森委員】一言で言いますと、非常に難しい課題だろうと思います。私自身は三十数年の教員生活の中で三好郡山城町の河内小学校で合計5年、大野小学校で3年、その2校ともへき地です。そこで勤めた経験から申しますと、山城町は地域が広がったんですが、それぞれの小さな地域の核として学校が位置付けられていたところがあって、地元の人にとってはぜひとも残ってほしい、というところだったんですが、まず、分校が児童数がゼロになってなくなり、本校の方も複式、複々式になっていき、それでも続けたいというようなことの現実をずっと見てきました。すごい時には、来年から人数が2、3人になってしまうということがあって、教員の異動で徳島市内の方から子どもを連れて町へ赴任してくれる先生がいたら、優先的にまわしてもらおうというような、子どもを2人3人増やすためにそういうことをしているという現実も見てきました。そういうことを考えると学校として、教育としての機能以外の地域住民の心のよりどころと言いますか中心にあるなあという気がしますので、できる限り続けてほしいという気持ちがあります。阿波市はへき地と言われている地域と比べますと、子どもの数はどんどん減ってはきていますが、ベースになる家庭数はけっこうありますので、予想通りいかないのではないかなあと、もう少しゆったり減っていくのではないかと私自身は楽観的にみているんですが。ただ、統廃合になりますと、教育委員会としては子どもの教育を優先的に考えなければいけないだろうと。行政サイドとしては、学校数が少ないほど経済的な面では支出が少なくてよいという側面があるかと思います。とにかく、児童生徒、地域住民、学校関係者等で思いが複雑に絡むところがあって簡単には決められないなという気がしております。最終は政治的な決断になるのではないかと考えております。先ほども申しましたが、地域の中心としての機能、よりどころとしてある学校はできる限り続けてほしいと思います。以上です。

【重清委員】阿波市は各学校の耐震補強工事はすでに終わっております。先ほど教育総務課長さんからの説明にもありましたように、施設整備計画についても長寿命化の大規模改修が行われております。今、子どもたちの人数がすごく減っているという危惧もありますが、各学校とも特別支援の人数が増加している状況で、1クラスできるくらいの人数になっている学校もありますので、できるだけ手厚い指導というのが大事だと思います。今、コロナ禍の状況の中ではソーシャルディスタンスも言われておりますので、人数的には各クラスともしっかりとそういう場を設けて、指導するにもメリットがあろうかと思えます。各小学校区においてこども園もできており充実していますし、放課後児童クラブも各小学校にできています。阿波市は、子どもたちが充実した学校生活をおくれるようにハード面の準備はしてくださっていますので、統廃合を考えるよりは、「子育てするなら阿波市」を前面に打ち出して、環境も整っておりますので、できるだけ阿波市に来ていただきたいという方向で続けていっていただきたいなと考えております。

【大戸井委員】統廃合については、今すぐ検討するという事ではないかなと考えておりますが、意見として言わせていただきますと、例えば吉野川市でしたら美郷村には学校がゼロだ

ったと思います。徳島県の人口もおそらく70万を割ってくるのもすぐそこになってきていると思います。実際4年前に旧上那賀町の上那賀中学校の閉校式に参加してきましたのですが、その地元出身の元県議会議員の方がおっしゃっていましたが、そこは平谷中学校と宮浜中学校が合併して上那賀中学校になったという経緯があったと思うんですけど、合併してわずか15、6年だったと思います。その方が挨拶に立たれておっしゃったのが、まさかこんなに早くこのような状況になるとは予想だにできなかったということでした。現に人口も減っている、経済状態も悪い、結婚される方も少なくなっている、出生率・出生数も低いという状況において、我々が予想するよりはるかに速いスピードでもっと少子化が進むのではないかと予想します。それに加えて教職員の確保の困難。指導する側もないという状況が全国で多い。こういうことを考えて、合理的に考えていくと、今すぐではないということですが、15年後、20年後にはそういう状況がくると想定した動きも、あいだあいだでデータを見ながら注意深く見ていかなければならないのではないかなということが私からの意見になります。以上です。

**【西淵委員】**私も統廃合については、今すぐではないなという意見は委員の皆さんと同じです。人件費削減や光熱費などの問題を考えても市としてのメリットはそうないのではないかとこの面でも今は必要ないかなと思います。ただ、把握はできていないんですが、各学校の建物の耐用年数から考えると少し気にしていかなければならない問題もあるかと、それが何年後になるかは私ではわからないところがあるんですが。それから逆算して、このくらいの時期にこの学校は建て替えが必要かどうかという大きな問題がでるようであれば、そこは検討するべきではないかと思います。今はこのままの状態でも一人ひとりの子どもを大切にみていくことが重要だと思います。以上です。

**【高田教育長】**ありがとうございました。本当に難しい問題であろうかと思えます。今すぐそれを検討するということではないというご意見でよろしいでしょうか。これからも委員の皆様にご意見をいただく機会をしっかりとっていきたいと考えております。ありがとうございました。ほかにございませんか。なければ、令和4年度第2回阿波市教育委員会定例会を終了します。ありがとうございました。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和4年5月25日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐